

令和4年度 第7回豊能町教育委員会会議（10月定例会）会議録

日 時： 令和4年10月25日（水） 午後2時30分開会

場 所： 豊能町役場 第1・2会議室

出席者： 教育長	森田 雅彦
教育委員	坂口 敏子
教育委員	富永 彰一
教育委員	小松 郁夫
事務局：こども未来部長	入江 太志
教育総務課長	千歳 あや乃
義務教育課長	吉澤 亘
こども育成課長	竹内 弘明
生涯学習課長	寺倉 義浩
教育総務課主事	篠崎 達郎

傍聴者： 4名

会議次第

○審議事項

第7号議案 豊能町社会教育委員の委嘱について

○各課・室からの報告

開会：午後2時30分

【教育長】

それでは会議を始めます。

9月議会において選任同意され、10月23日付けで、新たに教育委員に御就任いただきました、小松郁夫委員より御挨拶をいただきます。

御挨拶をいただきます前に、小松郁夫委員の略歴を私から紹介をさせていただきます。

（略歴紹介）

それでは小松委員、御挨拶よろしくお願いたします。

【委員】

(挨拶)

【教育長】

ありがとうございました。

それでは、会議に入らせていただきます。ただいまの出席委員は、3名です。過半数に達しておりますので、ただいまから「令和4年度第7回豊能町教育委員会10月定例会」を開会いたします。なお、宮崎職務代理、馬渡委員につきましては事前に御欠席で連絡をいただいております。今日の会議の会議録署名員を坂口委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

本日は、審議事項1件を議題とさせていただきます。第7号議案「豊能町社会教育委員の委嘱について」でございます。事務局より説明をお願いいたします。

【生涯学習課長】

それでは第7号議案「豊能町社会教育委員の委嘱について」御説明させていただきます。それでは議案書をご覧ください。提案理由としまして、豊能町社会教育委員任期満了に伴い、社会教育法第15条第2項の規定に基づき、9月の教育委員会会議において、7名の委員の委嘱について御決定いただいたところですが、その際の教育委員会会議でもご説明させていただいたとおり、東西地区のバランス、あるいは、男女比のバランスの点から、追加で委員の委嘱を行いたく、教育委員会会議で議決を求めるものでございます。

それでは2枚目の委嘱予定者の名簿をご覧ください。今回追加で委嘱を予定しております委員は1名でございます。委員数は、これで合計8名となり、うち再任が6名、新任が2名ということになります。それでは今回、新任で委嘱を予定しております、久保田慶子さんの経歴を御紹介させていただきます。

(略歴紹介)

なお委嘱の期間は本日、令和4年10月25日から、令和6年10月15日となります。説明は以上です。ご審議いただきご決定いただきますようお願いいたします。

【教育長】

ありがとうございました。説明が終わりました。今までなさっておりました高橋委員の後任ということによろしいですか。

【生涯学習課長】。

前回まで務めていただいた高橋由美子さんは東地区から選出でしたが、今回ご辞退され

たということで、代理というわけではないですけども、追加という形で久保田様にご就任いただくという形でございます。

【委員】

これで西と東が4名ずつになったということでいいでしょうか。

【生涯学習課長】

現時点で言いますと、東が2名、西が5名。今回久保田様に就任いただくと東が3名、西が5名となります。男女比で言いますと、今現在は男性5名女性2名ですが、これで男性5名女性3名ということになります。

【委員】

青少年指導員や、ミニスポーツ大会など、運営に携わっていただいております、教員免許も持っており、学校や教育にとっても興味があり、公民館活動も積極的にされて、しっかりした意見をお持ちでそれをしっかり伝えられる方なので、とても適任だと思います。

【教育長】

ありがとうございます。他の委員はいかがですか。

9月の定例会で、あとの委員に関しては提案があり承認をいただいたところで、現在7名でスタートしていただいている状況でございます。

それでは、よろしいですか。質疑の終結をさせていただきます。ただいま説明がありました。第7号議案、「豊能町社会教育委員の委嘱について」賛成の方の挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

はい、ありがとうございます。挙手全員であります。よって、7号議案は可決されました。次に、前回の会議以降の各課の報告に移ります。順次、事務局より報告をお願いいたします。

【こども未来部長】

- ・西地区の義務教育学校開校に向けた保護者住民説明会について
- 豊能町の目指す9年続く義務教育学校について
- 吉川中学校の改修後の教室配置等の工事内容
- 令和6年7年の光風台小学校の受入れの改修工事の内容、全体の整備スケジュール等

【教育総務課長】

- ・ 令和 5 年度の教員採用試験の結果について
豊能地区において小学校中学校、校種問わず、志願者数は年々減少している傾向
- ・ 西地区の義務教育学校開校に向けた保護者住民説明会について
令和 6 年 7 年、光風台小学校で吉川中学校生徒が学ぶに当たっての質問が多い
⇒通学、クラブ活動、給食、避難所の活用、工事費等

【義務教育課長】

- ・ 中学校の職場体験学習について
- ・ 保幼小中の体育実践教育の公開授業について
- ・ 東能勢小中合同運動会について
初の小中合同（一部ふたば園も含む）の運動会の開催
- ・ 学校運営協議会について
校名および制服に関する検討

【こども育成課長】

- ・ 児童虐待防止キャンペーン映画上映講演会について

【生涯学習課長】

- ・ ユーベルホール開館 30 周年記念、フィルハーモニック・ウインズ大阪、オオサカン
による特別演奏会の開催について
- ・ テレマン室内オーケストラの開催について
- ・ とよの文化祭の開催について
とよのまつりが中止となり、名称をとよの文化祭と改めて単独開催で実施

【教育長】

- ・ 岩手県大槌町等の教育委員の東能勢小中学校視察について
- ・ 教育委員参加の公開研究授業の開催予定について

【教育長】

これまでの説明の中で、ご質問等ありましたらお願いします。

【委員】

給食を小学校で作って、中学生が自校方式の給食を食べるっていう方向に話が変わって
いっていることが、すごくすばらしいなと思いました。いずれ小中一貫校になったら、給

食は食缶を自分達で配膳するという形になると思いますが、それを早くできるということはとてもすばらしいと思います。

また、教員採用試験の倍率が3倍を切ってしまったという、これは、豊能町だけの課題ではないと思いますが、3倍切ったらいろんな課題が出てくると以前からずっと言われていたと思いますので、少し心配です。

【教育総務課長】

デリバリー給食を自校給食に変えることによって、設備面の修繕とデリバリーの業務委託料を比較しどのくらい経費が縮減できるか、できるとなったときにどうやって配送すればいいのか、そしてそれを受けていただける業者があるのか、という問題があります。

また給食というのは出来てから2時間以内に食べ終わらなければならないというのがありますので、実際に光風台小学校で給食をつくって、それを東能勢に持ってきて、そこで児童生徒たちが2時間以内に食べ終わることができるのか、さらに配膳経験のない中学校の教員の先生方にどのように給食配膳を協力頂けるのか検討しております。

教員採用のことにに関してですが、全国と同じよう豊能地区も子どもの数が減って、教員の採用の数も減ってというところですが、やはり今の教員の方々の働く環境に不安を感じて、教員ではない道を選ばれる方が多いので、教員の働く環境の整備等が課題だと思います。採用時期を早めたり、採用試験の回数を増やすことを提言しておりますが、それだけでは、教員が増えていかないだろうという状況です。

【教育長】

小松委員、何かご意見はいかがでしょうか。

【委員】

まず給食についてですが、やっぱり一番ネックなのはやっぱりハードの整備です。それをどれだけ、優先順位を上げてやっていくかということで、費用面に関して大変だとは思いますが、事務局と学校の関係者との間でしっかり協議されて、少しでも可能な形で、給食指導的な教育活動もできるようになったらいいのではないかなと思います。

あとは、配膳活動も、先生だけがやるのではなくて、児童生徒の力をしっかりと使って、彼ら自身にしっかり準備できるようにする、これもまさに指導的な中身だと思いますので、その辺の工夫は是非されたいのではないかなと思います。

次に採用試験の話ですが、国で議論している、採用の時期を早めるだけでは、根本的な解決にはならないと思います。採用時期を早めるっていうことになりますと、実は大学に関して言うと、4年生の最初からやられると、ゼミとか卒論の準備が出来ないといろんな大学の先生から、意見が出ています。文部科学省の会議の中でどういう議論があるかわかりませんが、やっぱり最終的には、各自治体が大学と協力しながら教職というものの魅力

づくりをしていくってことじゃないかなと思います。

先ほどの説明会の話で質問ですが、3回の説明会の出席人数を紹介いただきましたけれども、重複している方はいらっしゃるんですか。それでトータルで何%の保護者が出席されたのでしょうか。

【教育総務課長】

何%の保護者が出席したまではわかりませんが、重複して来られている方は1人か2人だったと思います。ずっと同じ人が来ているというのはなかったかなと思います。

【委員】

当事者の保護者とその子ども達にとっては、大問題に感じると思うので、その辺のことは、ただ移りますというだけではなく、より早めに質の高い授業をやっていきますというような説明とセットでしていったほうがいいだろうなと思います。学校改革の一番核になるのは、こういう教育活動に新しく挑戦します、あるいはこういう新しい行事をやりますというようなことで、より質の高い授業をやっていきますというような話をぜひ学校側からもしていただき、このような力がついた子どもを育てますというような形で提案いただけたらいいのではないかなと思います。

【教育長】

足立区は区役所のレストランで、学校の給食を販売されていると聞いていおりますが。

【委員】

足立区役所は上が、レストランで、区民の方がよく利用しますが、そんなおいしい給食ならば区民の人にも食べてもらったらどうですかと私が委員をやっているとき提案しました。たまたま新潟のコシヒカリで有名な町との姉妹都市提携をしていて、田植、稲刈りのとき校外学習で新潟に行ってみたいなこともやっているようです。

ぜひ豊能町では大きな柱として、地産地消、作物の収穫までの過程を子どもたちに体験させていただけると非常にいいかなと思います。

【教育長】

豊能町の給食には、豊能町産のキヌヒカリという、豊能町でとったお米を使っております。大変おいしいお米でございます。

【委員】

東能勢小中学校の合同の運動会でふたば園の子どもたちが参加して、ふたば園の子どもたちを、小学校の子どもたちが、リードをしたりしたっていう話があったのですが、吉川

中学校では以前からずっと、中学生と吉川保育所の交流が続いてきていたようですが、東地区はふたば園と東能勢中学校の交流は今まであったのか気になりました。

また吉川中学校は6年生が吉川中学校に進学するために、中学校のクラブを見に行くとか、そういう活動は以前あったような気がするのですが、今はどんな感じが気になりました。そのような活動も含め小中連携がうまいこと進んでいたらいいなと思っております。

【教育長】

令和8年度から、小中一つになりますので、今の段階でできることから進めていきたいと思いますということになっています。例えばこの間の校長会でも、東ときわ台小学校と光風台小学校が修学旅行を同じ日、同じ場所で、一泊目は近くに泊まるといったような取組を行いました。吉川小学校も少人数ですので、そこも一緒になったら、3小学校が一つになることができます。例えば臨海学習、修学旅行も来年度くらいからは一つになるというような活動を少しでもたくさん行いたいと思います。

【委員】

部活のことを質問したいのですが、将来指導員を外部に依頼するという話があります。中学校の部活の指導、場所を、学校の中で確保するのか。将来に向けての指導者とのつながりはどのようにお考えかお聞かせ下さい。

【義務教育課長】

部活動について、国からも学校の先生の働き方改革も含めて、地域の方々に担っていただくということをやるように指導されております。町内の色々な方々と協力しながら、スポーツだけでなく、部活動として、文化系のことも含め何か仕掛けをして、子どもたちにいろいろな活動ができるような場を持っていきたいなと思ってます。また指導者の派遣などは補助金を利用しながらやっていけたらなと思っております。

【教育長】

文部科学省では、2023年から3年かけて、土日の部活動を地域の方にみてもらえるようにとっております。これからどうしていくか、検討段階ですが国のガイドラインに基づいて検討に入っていきたいと思ってます。

【委員】

先ほどの体育実践の研修ですが、保幼小、そこに中学校の体育の先生であるとか、例えば生徒指導の先生とかいらっしやったのかお聞きしたいです

【義務教育課長】

各小中学校保幼にも、御案内させていただいております。おそらく中学校の先生方も多分体育ということですので、参加していただいていると思います。

【教育長】

他によろしいでしょうか。それでは以上をもちまして、令和4年度第7回豊能町教育委員会会議10月定例会を終わらせていただきます。長時間、ありがとうございました。

閉会 午後4時3分